

平成29年10月 市長記者会見 配布資料

発 表 原 稿

期 日 平成29年10月16日(月)

時 間 午前10時～10時45分(予定)

発 表 内 容

- 1 平成29年度佐渡市総合防災訓練の実施について ……<防災管財課>
- 2 「佐渡市環境フェア2017」の開催について ……<環境対策課>
- 3 「佐渡市プレミアム商品券」の発行について ……<地域振興課>
- 4 タブレット型申請書作成・証明発行の開始について ……<市民生活課>
- 5 社会教育施設の廃止に関する説明会の開催について ……<社会教育課>
- 6 第8回「佐渡市地産地消フェスタ」の開催について ……<農業政策課>
- 7 「佐渡冬紀行」の発売について ……<観光振興課>
- 8 佐渡市子ども若者相談センターの移転について ……<子ども若者課>

【事前質問】

- ①防衛省が北朝鮮のミサイルを陸上から迎撃する施設「イージスアショア」の建設を佐渡島か秋田県に計画していることについての感想と今後の対応
- ②ワクチンの誤接種を受けた児童のその後
- ③ワクチン誤接種、市職員の個人情報流出と、いつまでたっても直らない市職員の意識改革、公約にもあげていたがいつまで続くのか？対策はないのか？
- ④柏崎の原発再稼働が審査合格したが対岸の島の市長として感想とあらためて再稼働の賛否は

市長記者会見発表内容 要旨 (H29. 10. 16)

1 平成 29 年度佐渡市総合防災訓練の実施について

<概要>

【資料あり】

* 日 時：平成 29 年 11 月 5 日（日）午前 9 時～12 時 30 分

* 場 所：サンテラ佐渡スーパーアリーナ周辺

* 災害想定：新潟県南西沖を震源とする強い地震が発生し、佐渡市では最大震度 6 強を観測、大津波警報が発表された。

- ・総合防災訓練では、自衛隊や北陸地方整備局、气象台、海上保安署、新潟県、東北電力、NTT、赤十字奉仕団、佐渡総合病院、建設業協会をはじめとする関係機関（約 500 名）が、それぞれの特徴を生かした各種訓練を実施。
- ・各地区の自主防災組織（約 1,500 名）では、地区に応じた津波避難訓練、避難行動要支援者避難訓練等を実施。

2 「佐渡市環境フェア 2017」の開催について

<概要>

【資料あり】

* 日 時：平成 29 年 11 月 5 日（日）12 時～16 時

* 会 場：アミューズメント佐渡

* 内 容：オープニング吹奏楽演奏

イルカさんの講演会

佐渡環境賞グランプリ 2017 表彰式

佐渡エコクイズ大会ほか

- ・入場は無料。
- ・環境講演は、事前申込みが必要。

10 月 25 日（水曜日）までに F A X（63-2750）又は電子メールにて環境対策課内の事務局へお申し込みください。

3 「佐渡市プレミアム商品券」の発行について

<概要>

【資料あり】

- * プレミアム率：40%
- * 販売価格：1セット5,000円
- * セット内容：合計7,000円分（500円×14枚）
 - ・「ここだけ券」
登録店のうち市内に本店・本社のある地元の商店などで利用可能4,000円分
 - ・「どこでも券」
登録店のうち市外に本店・本社のある大型店などでも利用可能3,000円分
- * 申込方法：往復はがきで地域振興課へ（10/25～11/17 投函分まで）
- * 購入限度：一人3セットまで
- * 引換期間：12/1～12/28まで
- * 引換場所：郵便局32店舗（簡易郵便局を除く）、各地区1～2店舗の商店
- * 利用期間：12/1～2/28まで
 - ・商品券を取り扱う登録店も現在募集中です。今回は換金手数料の負担はありません。

4 タブレット型申請書作成・証明発行の開始について

<概要>

【会見終了後デモンストレーションあり】

- * 開始日：平成29年10月17日（火）～
 - ・本庁及び支所・行政サービスセンターの窓口で、タブレットを使った「住民票の写し」「印鑑登録証明書」の申請書の作成と証明書の発行を開始。
 - ・お客様からお聞きした内容を、職員がタブレット画面に入力し、最後にお客様から直接署名していただくと、申請書が完成し同時に証明書の発行も行えるシステム
 - ・本人が申請する以外では使用できません。

5 社会教育施設の廃止に関する説明会の開催について

<概要>

【資料あり】

佐渡市では平成18年3月に策定した佐渡市行政改革大綱により、効率的な

行政運営と公共サービスの提供に取り組んでいます。具体的な取り組みについては、「集中改革プラン」を計画し、学校・保育園や博物館・体育館等の生涯学習施設の統廃合などを実施しています。また、最上位計画である佐渡市将来ビジョンにおいて、「庁舎整備等基本構想」をまとめ、支所等の整備を進めているところです。

市が設置する社会教育施設のうち、島内3地区の社会体育施設については、「集中改革プラン」に基づく廃止を、両津地区公民館については、「庁舎整備等基本構想」に基づく両津支所との複合化を、両津文化会館については、著しい老朽化等による廃止をそれぞれ行わせていただきたいと思います。

廃止後の代替施設案も含めた説明を、10月18日から25日にかけて、市内4地区でいずれも午後7時から、説明会を開催しますので、市民の皆さまのご参加をお願いします。

6 第8回「佐渡市地産地消フェスタ」の開催について

<概要>

* 日 時：平成29年11月19日（日）午前10時～午後2時

* 会 場：サンテラ佐渡スーパーアリーナ

* 内 容：「佐渡まるごとふれあい市」

「米粉スイーツ販売会」

「さどごはん人気投票」

「朱鷺と暮らす郷米 おむすびアート」

…「朱鷺と暮らす郷」米10作目を記念した参加型イベント

* 新 企 画：

環境省の「つなげよう森里川海プロジェクト」のアンバサダー小原壮太郎さんと、次期アンバサダー候補の日本テレビ「ZIP!」のレギュラーとしても活躍中の長沢裕さんを招きトークショーを開催。

食と豊かな環境のつながりについて考えます。

* 同時開催：

・「キッズお仕事体験」

佐渡市小中学校PTA連合会と市が共催し、将来の夢や職業観を育める

- よう、小中学生にさまざまな職業を体験してもらイベント
- ・「ものづくりフォーラム」
- 佐渡工業会が、市内のものづくりを紹介するイベント

7 「佐渡冬紀行」の発売について

<概要>

佐渡の冬の味覚を大変お得に楽しめる旅行商品「佐渡冬紀行」を販売いたします。

通常価格の約5割引きのモニター価格で、首都圏発2万6,900円、新潟港発1万4,800円で販売し、隠れた佐渡の魅力を多くの人に体験していただくと共に、万が一、船が欠航になった場合でも、延泊となった宿泊費を補償する安心でお得なプランです。

この冬紀行は、2泊3日の宿泊プランで、冬の味覚である活ズワイガニや寒ブリをはじめ、郷土料理の「さどごはん」も提供。参画いただくお宿さんからは料理の説明を始め、お客様のおもてなしの充実を図ります。

冬紀行販売は10月末の予定です。具体的な販売日が判明しましたら、再度皆さまにご案内いたします。

8 佐渡市子ども若者相談センターの移転について

<概要>

【資料あり】

* 移転日：平成29年10月1日

* 移転先：旧金井新保保育園

* 電話番号：0259-58-8077

* 受付時間：午前8時30～午後5時15分（土日・祝日・年末年始を除く）

- ・センターでは、妊娠期から概ね39歳までの若者に関する様々な相談を受け付けています。
- ・子育てのこと、子どもの発達のこと、学校や職場になじめないなど、不安や悩みのある方はお気軽にご連絡ください。

- ・中興資源活性化センターで実施していた幼児療育支援教室は、新しい子ども若者相談センターで実施します。

【事前質問への回答】

①防衛省が北朝鮮のミサイルを陸上から迎撃する施設「イージスアショア」の建設を佐渡島か秋田県に計画していることについての感想と今後の対応

(回答)

平成 29 年 9 月 24 日に、政府が、北朝鮮の弾道ミサイルの脅威などに備えて、新たに導入する陸上配備型の迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」について、日本海側の地域に東西 1 基ずつ配備する方向で検討しており、その候補地の 1 つが当市の佐渡分屯基地であるとの報道がなされましたが、詳細については把握していません。

もしも、今後、防衛省サイドからそのような話があれば、その話をしっかり聞いた上で、市民の皆様にもご相談したいと思います。

②ワクチンの誤接種を受けた児童のその後

(回答)

誤接種を行った 12 名の児童については、翌日、翌々日、その後は接種日から 1 週間ごとに、訪問もしくは電話で、健康状態の確認を行いました。

その結果、11 名の児童には、予防接種による副反応は確認されませんでした。1 名の児童に、紅斑の症状が見られ、経過観察を継続しています。

10 月 10 日には、対象児童保護者の皆様に対して説明会を開催し、直接お詫びを申し上げますとともに、事故発生の原因、経過、市の再発防止策などを説明いたしました。

保護者の皆様からは、副反応の症状に関する説明不足や経過説明の遅延についてご意見をいただきましたので、職員の意識徹底を図り、二度と事故が発生しないよう努めてまいります。

③ワクチン誤接種、市職員の個人情報流出と、いつまでたっても直らない市職員の意識改革、公約にもあげていたがいつまで続くのか？対策はないのか？

(回答)

不適正事務が度重なり発生していることにつきましては、大変遺憾であり、大変申し訳なく思っております。

これらの不適正事務の原因は、すべて、職員の思い込みによる不注意であります。少し注意をすれば、容易に回避できたものばかりであります。

こうした市職員の不祥事、不適正事務については、厳正に対処するとともに、すべてをガラス張りにして、すべてを公表しております。

その都度、市民の皆様からのお叱りもお受けしておりますが、そのことが、緊張感や責任感を、職員に改めて意識させることとなり、また、不祥事の抑止力になるとも考えております。

その他、組織としては、庁内にガバナンス委員会を設置し、不適正事務を起こさせない、組織としての対応も併せて進めております。

④柏崎の原発再稼働が審査合格したが対岸の島の市長として感想とあらためて再稼働の賛否は

(回答)

平成 29 年 10 月 4 日に、原子力規制委員会が「柏崎刈羽原子力発電所 6、7 号機が新規制基準に適合している」とする審査書案を了承したと報道されました。

これは、あくまでも原子力規制委員会が新規制基準に適合していたとしたもので、その基準について、特に、意見を述べるものではありません。

なお、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働につきましては、以前から、福島第一原発の徹底的な検証と安全が担保されない限り、ありえないとしてきたところですが、新潟県知事も、今回の件に関し、3つの検証がなされない限り、再稼働の議論は始められないとコメントしており、全くその通りだと考えています。